

# 前立腺癌に対する外照射併用密封小線源療法における3次元的合算線量を用いた線量分布の比較

## 1. 研究の対象

2022年10月25日から2025年6月24日までに岩手医科大学附属病院で前立腺癌に対して外照射併用密封小線源療法（シードの埋め込みと外照射）を行った方。

## 2. 研究期間

研究実施許可後～2026年12月31日まで。

## 3. 研究目的・方法

前立腺癌に対する外照射併用密封小線源療法における、通常分割（5週間の治療）と超寡分割（1週間の治療）での標的及びリスク臓器（直腸や尿道）のDose Volume Histogram（放射線の線量分布）を比較することで、どちらが放射線生物学的に良い治療であるかを明らかにすることを目的とした研究を行います。対象となる方は既に治療終了した方で、治療の過程で、作成した小線源治療の計画と外照射の計画の放射線の線量分布のコピーを、パソコン上で生物学的な強さに書き換えたうえで合算して、通常分割と超寡分割のどちらが放射線の線量分布が良いか確認します。

## 4. 研究に用いる試料・情報

情報：年齢、前立腺がんに関する情報（病理結果、採血のPSA値、病期）、ハイドロゲルスペーサー留置の有無、放射線治療計画（DICOM-RT）上の線量情報 等

本研究で取得した上記の情報は、研究終了後5年または結果公表日から3年（いずれか遅い日）まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性はありません。

## 5. 研究費および利益相反

研究費は放射線腫瘍学科の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。  
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局：岩手医科大学放射線腫瘍学科 講師 菊池光洋  
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号  
TEL：019-613-7111（内線6322）

研究責任者：

岩手医科大学放射線腫瘍学科 菊池光洋

-----以上